

第4学年 社会科学学習指導案

指導者

1 単元名

～未来に続く並木道 けやき通り～
地いきの発てんにつくした人々

2 指導観

こんな子どもたちだから

- 子どもたちにとって「けやき通り」は、通学路であり生活に密着した通りでもある。アンケートでも子どもたちの84%が「けやき通りで買い物をしたことがある」、80%が「散歩をしたことがある」と答えており、多くの子どもがけやき通りに親しみをもっている。 **(意欲・関心)**
- 子どもたちは、自分の考えをマップに表し、それをもとに聴き合い活動をしてきている。統計資料を関連付けて読み取ったことを考えの根拠にすることもできるようになってきている。 **(学び方)**
- 前単元「昔から伝えられるもの」の学習を通して、昔の人の生活をよりよくしたいという願いや思いは今の暮らしにも生かされていることを理解してきている。 **(認識)**

こんな教材を使って

○単元のねらい

本単元は、「けやき通りを守り、発展させるために工夫や努力をし続けてきた人たちの働きや苦心を調べ、地域社会に対する誇りと愛情を育むこと」をねらいとしている。

○学習指導要領への意義

本単元では、子どもたちにとってより身近な人物を通して地域の発展に尽くした先人の働きについて学ぶために、

- ① けやき通りの環境保全や発展のための活動に努めている「けやき通り発展期成会」のKさんを取り上げる。
- ② Kさんの活動を通して、けやき通りが先人たちの工夫や努力、働きによって守られていることや、将来に渡って「けやき通り」が発展していくことへの人々の願いに触れることを中心に学習を進めていく。

このような教材を取り上げることは、地域の生活の向上のために続けられている先人の働きや苦心を、自分たちの生活と関連付けながら具体的に理解できるという点で価値高いと考える。

○テーマへの意義

子どもたちにとって、Kさんとの出会いを通して具体的かつ共感的に学ぶことは、聴き合い活動への意欲を高め、先人の苦心を主体的に考え、豊かな学びをつくり出すことができるという点で意義深いと考える。

こんな手立てで (方法)

○つかむ段階では

赤坂校区にあるけやき通りの保全・発展に努める「けやき通り発展期成会」の活動に目を向けさせ、「Kさんたちが、けやき通りを守り続けることができたのはなぜだろう。」という疑問をもたせ、学習問題を設定する。

学習問題に対する予想を聴き合い、自分の課題を把握し、自己評価をもとに課題追究に必要な学習計画を立てる。

○さぐる段階では

資料をもとに自分の考えを組み立てたり、考えを整理して表現物に表したりする。さらに、同質グループでの聴き合い活動を通して、自分の考えを見直し、考えと資料とのつながりを意識しながら付加・修正・強化させる。

○あらわす段階では

学習問題に対する異なる考えを聴き合い、相手の考えのよさを受け入れながら共通点を見だしていく。また、ポートフォリオを活用して単元を通じた自分の考えの変容を振り返り、自己評価する。学習問題の答えについての見方・考え方の変容を振り返り、先人の苦心をKさんたちの工夫や努力とつないで理解する。

K(G T)さん

目指す子どもの姿

- ◎ けやき通りを守り続けるKさんたちの姿を通して、けやき通りと地域とのかかわりに関心をもち、地域の特色やよさを守るための人々の工夫や努力を意欲的に調べることができる。 **(意欲・関心)**
- ◎ Kさんたちの苦心によってけやき通りや地域のよさが生み出されたことを調べ、事実をもとに追究・整理し、写真資料やフリップなどの表現物をもとに効果的に聴き合うことができる。 **(学び方)**
- ◎ 聴き合い活動を通して、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を理解することができる。 **(認識)**

3 単元カリキュラム

社会科部テーマ

人物とのかかわりを通して考える力を育てる社会科学習

前単元

○ 昔のくらし見つけた 博多祇園山笠を通して、昔から伝えられるもの
人々の願いや思いについての考えを見直す聴き合い活動

〈根拠〉

- ・Kさんの話
- ・「けやき通り発展期成会」のホームページ
- ・地域の方の話
- ・新聞記事（樹木医のかかわり）(②)
- ・年表(①)
- ・けやき通りを守るための取り組み（清掃活動・プランター設置・花植え・水やり等）(②③④)

〈考えA〉

・地域の人たちと協力して、けやきを守る活動に取り組んだから

〈考えB〉

・国に認めてもらえるようにけやき通りのよさを伝えて説得したから

○主な聴き合い活動

学習問題「Kさんたちが、けやき通りを守り続けることができたのはなぜだろう。」について聴き合い、Kさんたちの取組や活動における工夫や努力をとらえるとともに、けやき通りに込められている願いを振り返り、先人の働きや苦心と自分たちの生活とを関連付けながら自分の考えを見直している。

○主なポートフォリオ評価

これまでの自分の考えを、ポートフォリオをもとに想起することによって、Kさんたちが、けやき通りを守り続けることができたわけについて自分の考えを振り返り、友達と聴き合い活動をしながら考えを見直している。

〈根拠〉

- ・Kさんの話
- ・国土交通省の方の話
- ・新聞記事（けやきを切るべきかどうかを伝える新聞記事）(⑥)
- ・年表(①)
- ・ボランティアサポートプログラム(⑤)
- ・福岡市都市景観賞
- ・九州の名所に選ばれる

次単元

○ わたしの住んでいる県 福岡県のように
力によって支えられていることについての考えを見直す聴き合い活動

(考えAの資料)

(考えBの資料)

資料②：樹医のかかわりを伝える新聞記事

資料①：けやき通りに関する年表

年	できごと
1948(昭和23)年	第3回国体が福岡で開かれるときに、幹線道路(中心となる道路)として作られ、「けやき通り」もその一部として整備された。
1958(昭和33)年	天皇后が福岡に来られたときに、「けやき」柳、桜などが植えられた。
昭和50年代前半	白水さんたちによって「けやき通り」という名前がつけられた。
昭和50年代後半	「けやき通り」にマンションがたくさん建てられるようになった。
1983(昭和58)年	街路樹が「けやき」にそろえられた。
1985(昭和60)年	商店会がお金を出して、街路灯が設置された。
	歩道をローズピンクのレンガ舗装になった。
1993(平成5)年	大型コンテナ車が「けやき」にしようとする事故が起きた。
	→けやきが切れそうになる。
1994(平成6)年	「けやき通り」が、新・日本街路樹100県に選ばれた。
1998(平成10)年	「けやき通り」が、第11回福岡市都市景観賞を受賞した。
2003(平成15)年	台風6号により、けやきが1本たおれた。
	→他のけやき8本もたおれる危険性があり、切れそうになる。

資料⑥：けやきを切るべきかどうかを伝える新聞記事

資料③：ボランティアの清掃活動の様子

資料④：通りを彩るプランターの花



資料⑤：官民一体となって取り組む「ボランティアサポートプログラム」

4 指導計画 (計12時間)

段階	主な学習活動と内容	評価規準と子どもの姿 ◇=評価規準 ・=意識	指導上の留意点と評価方法 ○=留意点 ◆=評価方法	配時
つかむ	<p>1 様々な事実と出会い、学習問題をつくる。</p> <p>(1) けやき通りの現在の写真とできた当時の写真とを比較し、どこが変わったか、どのように変わったか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 木の数が増えている様子 道路が舗装されている様子 車の数が増えている事実 <p>(2) 資料や年表から疑問を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> けやきが切られそうになった時の新聞記事 <p>(3) けやき通りを守り続けているKさんと出会う。</p> <p>(4) 学習問題をつくり、自分の課題をもつ。</p>	<p>◇けやき通りがどのようにして現在の姿へ変化していたか関心をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> けやき通りって、いつ、だれが作ったんだろう。 どうやって木を大きくさせているのだろう。 いつもきれいな街並みだけ、だれがきれいにしているのだろう。 <p>◇年表や新聞記事から疑問に思ったことを2つ以上見付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> Kさんたちは、どうしてけやきを守り続けることができたんだろう。 どうして今までけやきを切らずに守ることができたんだろう。 	<p>○図工でのけやき通りのスケッチのことを想起させる。その後、昔と現在の2枚の写真を提示し、比較させる。 《支援①⑥》</p> <p>◆発言・学習プリント分析</p> <p>○けやき通りが現在の姿になるまでには、「人」の手が加わっていることに気付かせる。 《支援①④》</p> <p>◆発言分析</p> <p>○学習問題を明確にするために、いくつかの視点を出させながら学習問題をつくらせる。 《支援②⑥》</p> <p>◆発言・学習プリント分析</p>	1
	<p>つ。</p> <p>(1) 学習問題について聴き合い、課題を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習経験、生活経験を生かした予想 <p>〈子どもの予想〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Kさんたち以外の人たちも協力したから。 ○Kさんが地域の人たちに呼びかけたから。 ○切ろうとした人をがんばって説得したから。 ○自分たちの力でけやき通りを守る努力をしたから。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="245 1832 612 2024" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【考えA】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人たちと協力してけやき通りを守る活動に取り組んだから <p>め、学習計画を立てる。</p> </div> <div data-bbox="628 1832 995 2065" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【考えB】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国に認めてもらえるようにけやき通りのよさを伝えて説得したから <p>分の調べる内容と方法をしっかり決めておこう。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> Kさんはどんな取り組みをしてけやき通りを守ってきたのかな。 Kさんだけではなく、いろんな人がかかわったんじゃないかな。 	<p>交流活動①</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全体 相違点をもとに課題を明らかにする聴き合い活動 <p>についても発表させる。 《支援①③》</p> <p>◆ポートフォリオ分析</p> <p>○友達のと自分の考えとの違いを具体的に取り上げる。 《支援⑥⑦》</p> <p>◆発言・学習プリント分析</p> <p>○年表をもとに長い年月をかけてけやき通りが整備され、保全されてきたことに目を向けさせ、先人の働きや努力から予想するようにする。 《支援④⑥》</p> <p>◆発言・学習プリント分析</p>	1

さ
ぐ
る

3 自分の追究計画に沿って調べる。

- ・インタビュー（けやき通りのよさ）
- ・見学・調査（Kさんたちの取組）
- ・新聞記事
- ・インターネット（けやき通り発展期成会）
- ・Kさんの話
- ・けやき通りについてのアンケート
- ・けやき通りに関する年表

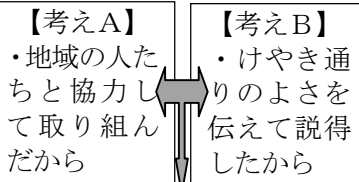
4 中間交流をする。

- (1) 聴き合い活動をし、不十分な点を補う。
- (2) 表現物の整理をし、自分の考えをまとめる。

5 整理した考えをもとに、学習問題の答えについて交流する。

- (1) 聴き合い活動をし、見方・考え方のよさを見付ける。

学習問題



<共通点>

Kさんたちは、けやき通りを守り続けるために、さまざまな問題と向き合い解決してきた。

- (2) 聴き合い活動をもとに、もう一度学習問題の答えをつくる。

6 発展課題として、地域の人や友達にけやき通りについて発信する。

- 校内や地域の掲示板に「お知らせコーナー」を作る。

7 単元全体を振り返る。

- けやき通りとのかかわりについて作文を書く。

あ
ら
わ
す

◇個人課題に取り組み、意欲的に追究しようとしている。

◇考えマップに自分の考えと根拠を記入し、分類している。

・同じ考えのグループで、もっといい考えを組み立てよう。

・どんな風にまとめると友達に分かりやすく伝わるかな。

◇追究した内容と方法をふり返っている。

・考えと根拠のつながりをしっかりと聴こう。

・どんなところが違うのだろう。

・〇〇さんの考えをもう少し聴いてみたいな。

◇自分の考えを考えマップに表している。

・〇〇さんの考えは、根拠とのつながりがよく分かるよ。

・〇〇さんの考えには納得できるな。

・Kさんたちがこんながんばってくれていたんだな。

・けやき通りっていろいろな人の工夫や努力によって守り続けられているんだな。

◇多面的に考えを見直そうとしている。

・学習問題について、もう一度考えを見直してみよう。

◇この単元の学習を通して考えたことや思ったことを表現物にまとめようとしている。

・けやき通りのよさや人々の努力や工夫をみんなに知らせたいな。

・けやき通りをいつまでも自分たちの手で守りたいな。

○個に応じた追究を可能にするため、視点別に内容や方法を交流させる。《支援②⑦》

◆考えマップ分析

○自分の考えの根拠となる事実をKさんへのインタビューや写真資料などを中心に集めさせる。《支援②⑧》

◆活動の様子の観察・ポートフォリオ分析

○自分の考えが明確になるように、グループで事前に交流させて考えを整理させる。

《支援①⑤》

交流活動②

●同質グループ

- ・不十分な点を補い、考えを整理する聴き合い活動

◆ポートフォリオ・フリップ・自己評価カード分析

○聴き合い活動をさせるために、発表の順序や指名を考慮する。《支援⑥⑨》

◆ポートフォリオ分析

○共通点を考えさせる。《支援⑥⑦》

◆考えマップ・発言・自己評価カード分析

○学習問題に対する自分の考えをつくらせる。《支援③⑦》

◆ポートフォリオ分析

交流活動③

●異質グループ

- ・考えのよさを見つけ、共通点をもとに考えを見直す聴き合い活動

○自分たちの生活とけやき通りとのつながりについて考えさせる。《支援⑦⑨》

◆ポートフォリオ分析

○この学習で学んだ社会的事象に対する見方・考え方を生かしてまとめさせる。

《支援③⑤》

◆ポートフォリオ分析

3

2

1
本
時

1

1

1

5 本時

Kさんたちがけやき通りを守ることができたわけについて、表現物をもとに聴き合う場面

(10/12)

6 本時の目標

- Kさんたちの取組や見学・聞き取りで調べたことをもとに、Kさんたちがけやき通りや赤坂のまちの発展を願って工夫や努力をし続けていることが理解できる。(学習指導要領から)
- 聴き合い活動を通して、友達の見方・考え方のよさに気付き、けやき通りを守り続けることができたわけについて自分の考えを見直すことができる。(テーマから)

7 本時の授業仮説

自分の考えを再構成する聴き合い活動と自分の考えの変容を振り返るポートフォリオ評価活動を設定すれば、Kさんたちがけやき通りや赤坂のまちの発展を願って工夫や努力をし続けていることを理解し、けやき通りを守り続けることができたわけについて、地域の人々の協力・けやき通りのよさ・草野さんたちの苦心の面から考えることができるであろう。

8 本時指導の考え方

○本時のねらい

本時は、学習問題の答えについて、互いの考えを聴き合うことを通して、友達の見方・考え方のよさに気付き、けやき通りを守り続けるための草野さんたちの苦心や努力について理解することをねらいとしている。

前時までに子どもたちは、学習問題「Kさんたちが、けやき通りを守り続けることができたのはなぜだろう。」について、自分なりの考えをもって意欲的に追究してきている。子どもたちの考えは、〔A：地域の人たちと協力してけやき通りを守る活動に取り組んだから〕〔B：国に認めてもらえるようにけやき通りのよさを伝えて説得したから〕の大きく2つに分かれている。子どもたちは、Kさんに話を聞いたり、考えのもとになる具体的な根拠を集めたりして表現物に整理し、まとめてきている。表現物には、学習問題に対する自分の答えとその根拠になる具体的な資料が相手に分かるように並べられ、考えマップも発表の際の補助資料として準備してきている。

○交流活動の工夫について

互いの考えを知り、考えの違いを確かめる聴き合いや、互いの考えのよさを知り、共通点から考えの重なりを確かめる聴き合い活動をする。そうすることで、子どもたちが相互に違いを認めながらも、友達の見方・考えのよさに納得し、それを受け入れて学習問題の答えをもう一度考えることを通して、自分の見方・考え方を見直すことができると考える。

また、自分の考えを発表する時には、事実・資料をもとに発言し、資料提示も同時に行うことや、聴くときには「確かめ」や「質問」をし、活発な聴き合い活動になるように仕組んでいきたい。

聴き合い活動後には、考えマップに友達の見方・考えのよさを書き込んだり、Kさんの話を聞いたりして、聴き合い活動への期待や成就感、さらにこれからの学習への意欲の高揚や考えの深まりにもつなげていきたい。

○評価活動の工夫について

前時までの、それぞれの時間における考えを記録したポートフォリオを本時授業場面で活用し、自分の考えの変容過程とそのわけを振り返らせ、見方・考え方の変容を発表させることで、友達相互の対話を通して学習することへの価値をもたせたり、聴き合い活動での発表補助資料に役立てたりしていくようにする。前時までに、自分の考えを表現したものをポートフォリオにまとめ、考えマップも併用しながら、考えの変容を自己評価カードに記入し発表させることで、自尊感情を高めていきたい。

・規準に満たない子への支援

共通点が見付からない子どもには、Kさんのまちづくりへの思いや願いに触れさせ、どのような視点で見直すとよいか考えさせ、考えをつないだり、まとめたりさせる。また、写真や年表などの資料をもとに具体的に考えさせるようにしていきたい。

9 準備

けやき通りの写真、けやき通りに関する年表、フリップ、考えマップ、ポートフォリオ、指示棒、自己評価カード

10 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援	評価基準		資料
1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。	○本時のめあてを確認し、学習の見通しをもたせる。	基準A	基準B	けやき通りの写真
学習問題 : Kさんたちが、けやき通りを守り続けることができたのはなぜだろう。				けやき通りに関する年表
本時のめあて : Kさんたちがけやき通りを守り続けることができたわけについて聴き合い、友達の考えのよさを見つけ、自分の考えを見直そう。				
2 聴き合い活動をする。 (1) 全体で聴き合う。(代表児童が提案する) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="137 640 512 909"> <p>【考えA】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちと協力して取り組んだから。 <p>《根拠の例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の話 ・けやき通り発展期成会の取組 </div> <div data-bbox="512 640 911 909"> <p>【考えB】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けやき通りのよさを伝えて説得したから。 <p>《根拠の例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の方の話 ・ボランティアサポートプログラム </div> </div> <p>← 両者の考えの共通点を見付けさせる。</p>	○考えの違いが視覚的に分かるように、板書の構成を工夫する。 ○板書の言葉を参考に両者の考えの共通点を見付けさせる。 ○自分の考えを見直せるように、考えの根拠と妥当性を「考えのよさ」とすることを伝える。	・筋道を立てて自分の考えを発表し、表現方法を工夫して相手に分かりやすく伝えている。	・表現方法を工夫して伝えている。	フリップ 考えマップ
<共通点> ・Kさんたちは、けやき通りを守り続けるためにいろいろな問題と向き合い、解決してきた。		基準Bに達しない子への支援 ・机間支援を行い、全体の聴き合い活動を例に、どのような視点で見直せばよいか助言したり、友達の考えのよさを自分の考えと比べたり、つないだりさせる。		ポートフォリオ
(2) グループで聴き合う。 ○ 友達の考えとの共通点から、考えのよさを見つける。 ○ 友達の考えとつないだり、まとめたりして、自分の考えを見直す。 (3) 考えマップに書き加える。 (4) Kさんの話を聴く。	○将来を見据えてけやき通りの保全・発展に努めていることをKさんから伝えてもらう。	・複数の根拠と資料をつないで自分の考えを発表している。 ・Kさんがけやき通りを守り続けることができたわけについて、2つ以上の点から自分の考えを見直している。	・根拠と資料をつないで自分の考えを発表している。 ・Kさんがけやき通りを守り続けることができたわけについて、自分の考えを見直している。	自己評価カード
<本時で目指す子どもの姿> 私は、Kさんたちがけやき通りのよさを伝えて説得したことで、けやき通りを守り続けることができたと考えていたのですが、○○くんの考えやKさんの話を聴いて、たくさんの人たちと協力してけやき通りの世話をする努力を続けたから、いろんな問題をのりこえてけやき通りを守り続けることができたのだと納得しました。その考えも取り入れてもう一度学習問題の答えをつくってみたいと思います。		基準Bに達しない子への支援 ・机間支援を行いどのような視点で見直せばよいか助言し、友達の考えのよさに気付かせる。		
4 次時の学習を知る。 ○ 自己評価カードをもとに、学習問題についての考えを再構成することを伝える。	○はじめの自分の考えを振り返らせ、考えの変容を中心に自己評価カードに書かせる。			

